61 01 08 04 02 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　平成25年08月19日(月)

事務事業	埋蔵文化財調査事業	担当課	生涯学習課	担当係	文化財保護係	管理番号	6149
総合振興計画 基本戦略		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□		
総合振興計画 主要プロジェクト					サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	000003 次代を担う人と文化を育むまちづくり<教育・文化>	根拠法令個別計画等	文化財保護法				
行政計画分野別施策名 中項目	000005 深谷らしい文化の創造						
行政計画分野別施策名 小項目	000002 伝統文化の保存・継承と活用						

事業概要	本事業は、市内に７４４か所所在する埋蔵文化財包蔵地は試掘・確認調査を行い、その内容を把握して、現状保存できない場合には、発掘調査をすることで記録保存を行う。また、重要遺跡については確認調査を行い、保存方法を検討する。その他市内の文化財を対象として、調査を行いその調査成果を市民に還元する。
目的 ※何のために	開発に係る埋蔵文化財を適切に保護し、市内の文化財の状況を確認するために、調査を行う。
対象 ※誰・何を対象に	埋蔵文化財、重要遺跡（幡羅遺跡等）、その他市内の文化財を対象とする。
手段 ※どのように	遺跡地内における開発に対する指導と、必要な場合は確認調査・本調査の実施、重要遺跡範囲内容確認のための調査の実施。
成果 ※何を求めるか	埋蔵文化財やその他文化財の適切な保護を目指す。
執行体制	□ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	08	土木費	04	都市計画費	02	街路整備事業費	北通り線整備事業	22,198,625
	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	05	文化財費	市内文化財調査事業	19,165,954
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 埋蔵文化財発掘調査業務	・
・ 埋蔵文化財確認調査業務	・
・ 埋蔵文化財照会・回答事務	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区　分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画				埋蔵文化財発掘調査 埋蔵文化財確認調査	埋蔵文化財発掘調査 埋蔵文化財確認調査	埋蔵文化財発掘調査 埋蔵文化財確認調査	埋蔵文化財発掘調査 埋蔵文化財確認調査
事業費	予算（現額）	39,551,000	34,337,000	34,729,000	53,435,000	49,236,000	26,035,000
	決算額	20,456,471	26,209,312	28,595,606	49,589,066	41,364,579	0
	財源内訳 国支出金	7,732,000	6,750,000	7,250,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
	財源内訳 県支出金	3,866,000	3,375,000	5,476,750	2,500,000	2,500,000	2,500,000
	財源内訳 地方債	0	0	0	0	0	0
	財源内訳 他特定財源	256,470	6,790,000	3,917,231	7,376,352	7,405,130	10,000,000
	財源内訳 一般財源	8,602,001	9,294,312	11,951,625	34,712,714	26,459,449	8,535,000
人件費	従事職員数(人)	2.00	2.00	2.00	1.68	1.80	1.42
	人件費相当試算 ※１	17,090,824	16,225,878	15,428,000	12,919,200	13,743,000	11,212,320
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		37,547,295	42,435,190	44,023,606	62,508,266	55,107,579	37,247,320

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
□	活動指標１	遺跡地内における開発に対する対応	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			問い合わせのあった開発に対応した比率						
		埋蔵文化財包蔵地数７４４									
■	活動指標２	遺跡地内における開発申請件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		216.00	254.00	193.00	211.00	244.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			埋蔵文化財包蔵地に該当する開発問い合わせの件数						
■	成果指標１	発掘調査報告書の刊行数	目標値	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	7.00	□
			実績値		8.00	11.00	5.00	4.00	7.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			発掘調査の件数の５割の報告書の刊行を目標値とする。						
□	成果指標２	確認調査の実施数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	70.00	62.00	69.00	81.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			埋蔵文化財包蔵地に該当した開発の試掘数						
□	成果指標３	発掘調査の実施数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	9.00	12.00	10.00	12.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			埋蔵文化財包蔵地に該当した開発の発掘数						
■	効率指標１	市民１人当りの市民の負担額	目標値	円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		58.12	62.79	80.75	237.64	229.04	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		人口１４３，６８１人									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 開発に伴う試掘調査、発掘調査が多く、調査活動は活発であった。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 新たな発見や報告書の刊行ができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	－	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 委託事業等をうまく活用して円滑に効率よく発掘調査を実施した。

評価者	文化財保護係長　知久裕昭

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	これまで通り、開発協議を経て、発掘調査から報告書刊行までを円滑に行う環境を維持していくことが必要である。
達成状況 及び その効果	円滑な発掘調査業務の運営、調査報告書の刊行が行えた。

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	埋蔵文化財調査事業	担当課	生涯学習課	担当係	文化財保護係	管理番号	6149

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

開発にともなう確認調査、発掘調査等の対応は円滑なものであった。今後、幡羅遺跡保存・活用計画の策定が大きな課題となる。

評価者	生涯学習課長　鳥羽政之

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

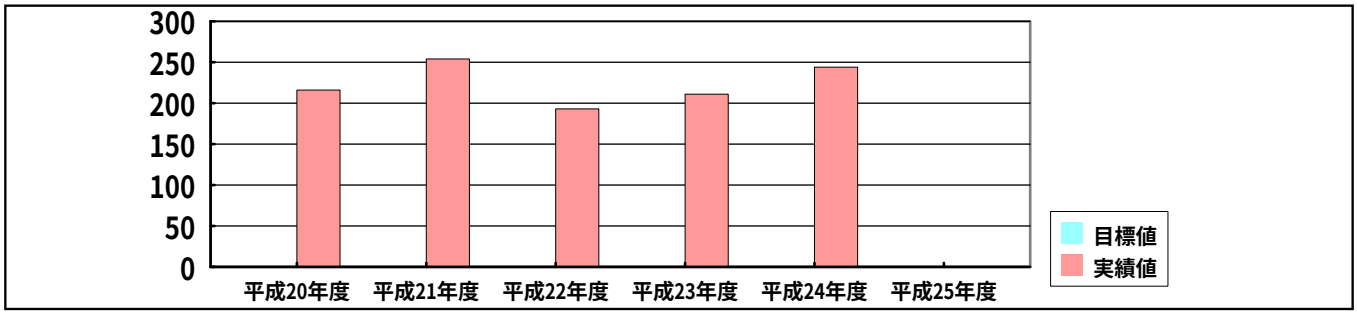
改善・改革案	これまで通り、開発協議を経て発掘調査から報告書刊行までを円滑に行う環境を維持していくことが必要である。

8．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

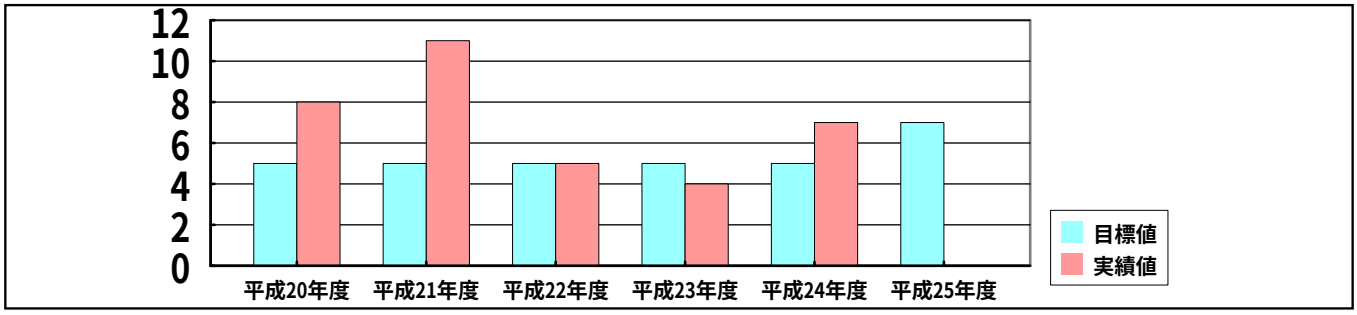
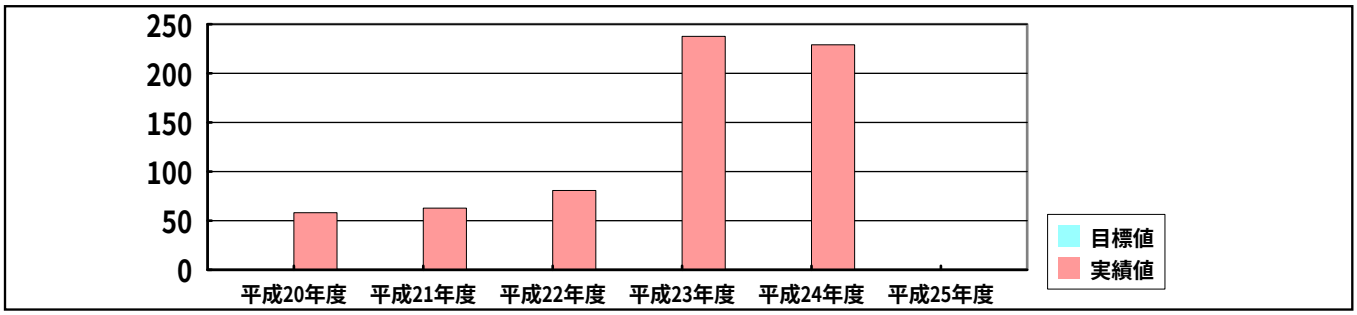
今後の課題	幡羅遺跡の保存、活用の検討。

9．評価指標グラフ

区分	活動指標２	指標名	遺跡地内における開発申請件数



区分	成果指標１	指標名	発掘調査報告書の刊行数



区分	効率指標１	指標名	市民１人当りの市民の負担額